

## 第3回基本構想検討委員会におけるグループ討議意見

## 1 開催状況

- (1) テーマ 「新しい学校に期待すること」について
- (2) 概要
- ①グループ討議（50分）
    - ・2班に分かれ、班ごとに建設技術研究所の進行により実施。
    - ・学識経験者がアドバイザーとして各班に加わり、助言や提言を行った。
  - ②意見発表（10分）
    - ・各班の代表者が討議内容を発表。
  - ③意見交換（10分）
    - ・委員長を座長として、意見発表を基に全体で意見交換を行った。

## 2 意見

項目	主な内容
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は「求める心、強い心、感謝の心、美しい心」の4つの心を磨く場でありたい。美しい環境が美しい心を育てるので、自然環境が豊かである利点を活かして、子供を育てて行きたい。</li> <li>・雄大な北上川や美しい自然と共に、子供たちを育てて行ける場所としたい。</li> <li>・保育園・小学校・中学校を含めた一貫した教育を行いたい。</li> </ul>
小中連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び・学習・生活面など、様々な部分で小学校や中学校との連携を深められると良い。</li> </ul>
施設配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北上中学校から北上川が見えるように、北上地区の景色を児童が眺められるような施設配置とすることが必要。</li> <li>・自然のなかで住民と児童・生徒の交流が図れる空間配置が必要。</li> <li>・小学校と地域の総合支所等を分断せず、一体化した配置に。</li> <li>・エリア全体のあり方を常に意識しながら学校の役割や配置を検討して行きたい。</li> </ul>
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴的な伝統芸能は特にないが、太鼓は継承されている。</li> <li>・ふれあいの空間に、地域の伝統文化を表す生簀<small>いけす</small>を配置した事例も参考に。</li> <li>・震災前は「にっこり祭り」や学区民運動会など、地域のお祭りがにっこりサンパーク多目的グラウンド等で行われていた。地域の人々が大勢集まり、バーベキューや舞台での踊りなど、とても賑やかであった。復活させるためには、ある程度スペースが必要だが、にっこりサンパーク入口手前のスペースが活用できると良い。</li> </ul>

項目	主な内容
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>※</sup>SNSによる交流（他校・外国等）や通信機器を授業に活用するなど特色ある学校を目指してもよいのではないかと心配している。子供の頃から通信機器に馴染むことで、地域の人にもネット交流が広がる。</li> <li>・学校の移転は、地元にとっては学校がなくなることから、地域のまとまりがなくなるのではないかと心配している。学校が遠くなくても、多くの住民が学校行事に参加するような学校としたい。「おらほの学校」という意識が芽生えるような学校になれば良い。</li> </ul>
グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の野球部が、存分に活動できる場を確保して欲しい（震災前は、放課後等に児童が運動できる場所が身近にあった。）。</li> <li>・鉄棒や雲梯など、体力づくりができる遊具を置いて欲しい（既設遊具の移設でも良いので。）。</li> <li>・ウサギや烏骨鶏など生物の世話をすることも重要な教育の一つであるので、生き物小屋を整備して欲しい。</li> </ul>
放課後児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区によっては、帰宅後、周辺に遊ぶ友達がいない地区もあるため、放課後児童クラブの位置付けは重要である。そのため、時間延長や送迎方法などを柔軟に対応してほしい。</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア内に整備される施設は、鉄筋コンクリート造や木造等、構造やデザインに統一感があると良い。地区に伝統建築物や伝統工法等は特にないが、茅やスレート等で素材や色彩も統一できると良い。</li> <li>・ロケーションは重要。自然に囲まれた地区の良さを引き出したい。</li> </ul>
送迎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、登下校時の送迎による渋滞等、安全面に課題がある。送迎の乗り降りは、中学校の体育館とプールの間で行うとするルールを設ける等の対策が必要。</li> <li>・小学生が安全に乗り降りできる場所を整備して欲しい。</li> <li>・総合支所の駐車場に、小学生が乗り降りできる送迎スペースを設けて欲しい。</li> <li>・移転新築後は、スクールバス同士のすれ違いにも配慮が必要。</li> </ul>

※SNS:ソーシャルネットワーキングサービス。個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービス。

項 目	主 な 内 容
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災機能を高めるためにも道路は一本では不安。</li> <li>・にっこりサンパーククラブハウス前の坂道のカーブは直角で危険。緩やかなカーブにできると良い。</li> <li>・小学校は、総合支所に整備される施設と役割分担する必要がある。</li> <li>・シンボル（時計塔など）をエリアの中心に配置するなどして、統一感あるエリアにできれば良い。各施設を個々で考えるのではなく、エリア全体をコーディネートする必要がある。</li> <li>・小学校・総合支所・こども園の間に、シンボルとなる憩いのスペースを整備し、児童・生徒・地域住民が交流できるようにしてはどうか。</li> <li>・利便施設を集約できると良い。</li> <li>・地区の入口には、地域住民向けの施設（図書館等）を配置して、住民が集いやすくする。小学生が迎えを待つ空間としても有効に活用できるし、また、放課後学習会も開催できると良い。</li> <li>・地域での交流活動や小中連携も可能な多目的に利用できる施設があると良い。交流ホールは、神楽のような伝統行事も開催できるようなものに。デザイン等景観面への配慮も必要。</li> </ul>

北上小学校建設基本構想・基本計画  
(骨子)  
(案)

## 北上小学校建設基本構想・基本計画（骨子）

### 目 次

1. 基本構想・基本計画策定の背景・目的.....	1
2. 上位計画・関連計画等.....	1
3. 小学校の現状.....	4
4. 計画地の概要.....	6
5. 学校づくりのコンセプト.....	10
6. 整備方針.....	11
7. 主な必要諸室.....	15
8. 整備計画の概要.....	15
9. 事業スケジュール.....	15
10. 施設の有効活用のために必要な事項.....	16

## 北上小学校建設基本構想・基本計画（骨子）

### 1. 基本構想・基本計画策定の背景・目的

- ・ 東日本大震災により被災した学校施設は、「石巻市立学校施設災害復旧整備計画（平成 24 年 3 月策定）」に基づき復旧整備を行っている。
- ・ 北上地区では、平成 25 年 4 月に相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校の 3 校を新設校として統合し北上小学校としているが、当分の間は橋浦小学校校舎を使用することとしており、北上地区の住環境の整備に合わせて、にっこりサンパーク多目的グラウンド内に移転新築することとしている。
- ・ 移転新築する小学校の周辺は、北上地区の拠点として、総合支所等の公共施設が整備され、既存の北上中学校も隣接していることから、小学校の整備については、これらの公共施設等と連携し、施設設備の相互利用等にも配慮する必要がある。
- ・ これらのことから、当該地区の教育環境の正常化を図り、地域との協働も考慮した学校づくりを行うため、北上小学校建設基本構想を策定するものである。

### 2. 上位計画・関連計画等

#### （1）石巻市震災復興基本計画

##### 【北上エリア復興整備方針】

##### ① 被災状況と主な課題

- ・ 北上エリア内の 14 集落が壊滅的な被害を受け、多くの尊い命が犠牲となった。北上エリア全体の人的被害は、亡くなった方が 185 名、行方不明の方が 80 名となっている。建物被災は、全壊 633 棟、大規模半壊 88 棟、半壊 47 棟となっている。被災時には、14 か所の避難所に約 1,800 名の方が避難した。
- ・ 津波により、北上総合支所、公民館、小学校（3 校のうち 2 校が全壊）、河北消防署北上出張所、河北警察署北上駐在所等、公共施設が壊滅的な被害を受けた。
- ・ 国道 398 号が沈下・崩落したほか、新北上大橋の一部や新相川橋が落橋し、また、公共下水道は全壊、上水道・通信網も破壊されるなど、ライフラインが壊滅的な被害を受けた。
- ・ 北上漁港（小滝、大指、小指、相川、大室）、白浜漁港ともに地盤沈下が著しく、物揚場、船揚場、防波堤、護岸が流失・破損した。特に、相川港は東西防波堤が全壊した。また、漁業集落も壊滅的な被害を受けた。
- ・ 北上川沿いの約 300ha の農地が冠水し、排水機場、排水路等などが被災したほか、地盤沈下の影響で排水機能が低下している。

## ② 復興整備方針

### ■復興の目標

居住の安全性と医療、福祉、教育体制等の確立を図り、水産業や農業の速やかな復旧と高付加価値化を進め、恵まれた自然文化資源を活かした地域づくりを目指します。

#### 1) みんなで築く災害に強いまちづくり

- ・ 住民の生活を津波や高潮から防御するため、防波堤や防潮堤のほか、北上川の河川堤防の整備を行い、安全な高台へ住宅地、総合支所等の移転を推進する。

#### 2) 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

#### 3) 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる

#### 4) 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

- ・ 教育施設等や子育て環境の復旧整備を推進するとともに、配置については津波への安全対策や地域バランスを考慮し、適正な配置を図る。

### 【将来構想】



▲石巻市復興整備計画「土地利用構想図（第19回変更版）」による

## (2) 石巻市立学校施設災害復旧整備計画

### 【北上地区】

#### 《計画》

- ・ 平成 25 年 4 月に相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校の 3 校を新設校として統合し、当分の間、橋浦小学校現校舎を使用する。
- ・ 統合小学校の本校舎は、北上地区の住環境の整備に合わせて、にっこりサンパーク周辺に移転新築する。

#### 《説明》

- ・ 相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校の 3 校は、橋浦小学校現校舎を使用して各校の各学年を 1 学級として合同で授業を行うなど、一体感が醸成されている。
- ・ また、平成 24 年 2 月に、「相川小、橋浦小、吉浜小 3 校統合に伴う高台移転に関する請願」が相川小学校父母教師会、橋浦小学校父母教師会及び吉浜小学校父母教師会から提出され、北上地区 3 校の統合による本校舎について、高台に移転新築するよう要望があったことから、住環境の整備と合わせてにっこりサンパーク周辺に移転新築する。
- ・ 本校舎を高台に移転新築するまでの期間は、暫定的措置として橋浦小学校現校舎を使用する。

## (3) 石巻市北上地域まちづくり委員会における計画方針

石巻市北上地域まちづくり委員会では、にっこりサンパーク周辺への防災集団移転促進事業に伴う新たな土地利用計画について、平成 24 年度から継続して検討を行っており、これまでに下記のとおり計画方針が取りまとめられている。

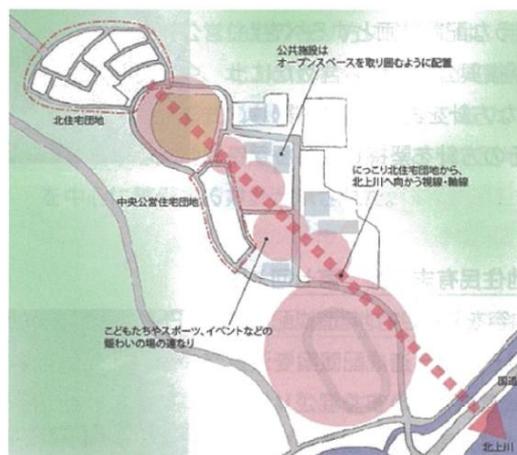
### 【にっこり地区全体のまちづくり方針】

#### ○コンセプト

「オープンスペースを軸として、風景や活気が繋がっていく、公園のようなまち」

#### ○計画のポイント・概要

- 1 にっこり北住宅団地については、北上川への視線と軸線を活かした計画とする。
- 2 北上川への視線と軸線を活かすために、子供たちが日々遊んだり、勉強したり、スポーツ、イベントなどが行われ、賑わいの溢れる場所となるオープンスペースを北上川へ向かう軸線上に緩やかにつなげる。



▲【2013 年度】「北上地域まちづくり委員会」支援活動 報告書（公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会）による

3 賑わいが街のどこにいても感じられるよう、オープンスペースを取り囲むように公共施設を配置する。公共施設はその性格に従って、下記の3つのストリートを構成するように配置する。

・ **アスレチックストリート**

野球場、テニスコート、クラブハウスと、エリア内の駐車場を活かした、周囲から人を呼び込む拠点。

・ **学びのストリート**

中学校・小学校・保育所・高齢者福祉施設・放課後児童クラブなどをつなぐ、多世代の交流の拠点。

・ **まちな顔となるストリート**

国道側から見て、北上地域の顔となるように、総合支所・公民館・消防署・駐在所など、出来るだけ夜でも明かりがついているような施設を配置。

### 3. 小学校の現状

#### (1) 北上地区の小学校沿革

##### ① 相川小学校

明治 6年10月 実法院に十ヶ濱小学校として創立  
明治12年 1月 相川小学校と改称  
明治29年 6月 三陸地震により被災（津波により一切流失）  
明治30年 5月 相川100番地に移転  
昭和22年 4月 新学制により十三浜村立相川小学校に改編  
昭和52年 3月 新校舎竣工  
昭和55年 4月 大指分校を統合  
平成23年 3月 東日本大震災により被災（校舎水没、体育館流失）  
平成23年 4月 橋浦小学校を間借りし授業再開  
平成25年 4月 北上地区三小学校が統合し北上小学校となる  
平成25年10月 被災校舎解体完了

##### ② 橋浦小学校

明治 6年 3月 洞泉院に橋浦小学校を創立  
明治25年 6月 橋浦尋常小学校と改称、橋浦尋常小学校女川分教場を開設  
明治28年 6月 橋浦村大須新田上田中に移転  
明治38年 7月 高等科を併置し橋浦尋常高等小学校となる  
大正11年 8月 河川改修に伴い現在地に移転  
昭和22年 4月 新学制により橋浦村立橋浦小学校、橋浦村立橋浦中学校に改編  
昭和56年 3月 新校舎竣工

- 平成23年 4月 相川小学校、吉浜小学校に教室提供
- 平成25年 4月 北上地区三小学校が統合し北上小学校となる

### ③ 吉浜小学校

- 明治 8年 5月 追波、吉濱、月濱の寺子屋を統合し、追波小学校を創立
- 明治22年 4月 白濱小学校と統合し吉濱小学校に改称、白濱に白濱分教場を開設
- 昭和22年 5月 新学制により十三浜村立吉浜小学校に改編
- 昭和53年 3月 十三浜東田50番地3に移転
- 平成23年 3月 東日本大震災により被災(校舎水没、体育館天井付近まで浸水)
- 平成23年 4月 橋浦小学校を間借りし授業再開
- 平成25年 4月 北上地区三小学校が統合し北上小学校となる
- 平成25年10月 被災校舎解体完了

## (2) 学校経営方針

### ① 学校経営方針

#### 1) 基本方針

夢と志をもち、ともに学ぶよさを通して、豊かな知恵と心たくましい体を育み、ふるさとを愛し、未来を創る児童の育成を目指す。

#### 2) 教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな知恵と心をもち、たくましく生きる児童の育成」

## (3) 児童数の現況及び将来推計

平成26年度における児童数は113人であり、学級数は普通学級が各学年1学級、特別支援学級が3学級、合計9学級である。児童数は今後ゆるやかに減少し、平成31年度には100人を下回るものと思われる。

### ① 在籍児童数・学級数

単位：(男・女・計)人  
(学級数)学級

・平成26年5月1日現在

1 児童数	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	情緒	知的	病虚弱	計
	男	8	9	9	11	9	14				
学級数	女	5	6	8	7	11	12	1	0	1	51
	計	13	15	17	18	20	26	2	1	1	113
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

### ② 将来推計

単位：人

学年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
1年	34	21	19	16	13	16	20	18	18	12
2年	33	26	18	19	17	13	16	20	18	18
3年	40	30	21	18	18	17	13	16	20	18
4年	36	32	28	20	18	18	17	13	16	20
5年	38	29	29	28	20	18	18	17	13	16
6年	33	38	29	29	27	20	18	18	17	13
計	214	176	144	130	113	102	102	102	102	97

※H22～26：学校基本調査結果

※H27～31：石巻市教育委員会試算

#### 4. 計画地の概要

建設予定地	石巻市北上町十三浜小田地内 (にっこりサンパーク多目的グラウンド内)
敷地面積	約 12,200 m <sup>2</sup>
土地所有者	石巻市

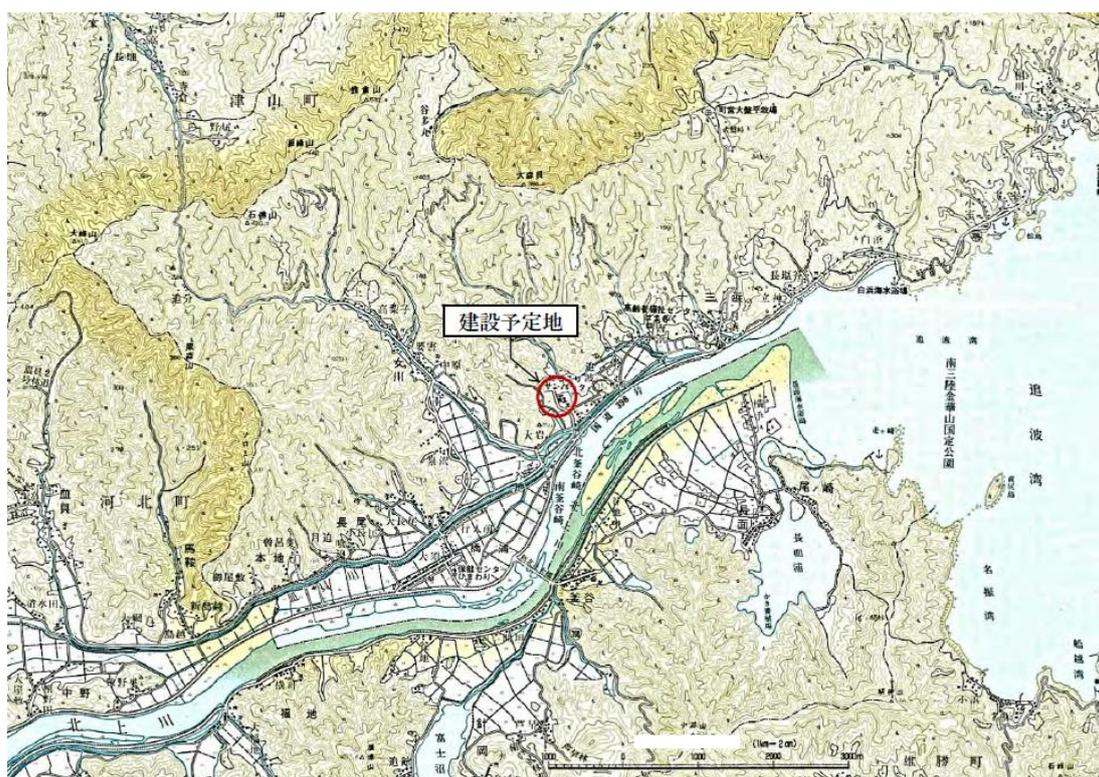


図 4-1 建設予定地位置図

##### (1) 北上地区及び周辺地域の地域性等

北上地区は石巻市の北東部に位置し、山、川、海の豊かな自然を有している。

周辺の地形条件については、東に追波湾、南に北上川、北は翁倉山をはじめとする山地となっている。

東日本大震災時には、北上川に沿って多くの地域が浸水したが、建設予定地に関しては浸水被害を免れている。

## (2) 建設予定地及び周辺の現況、土地利用計画

### ① 建設予定地及び周辺の現況

建設予定地は、にっこりサンパーク多目的グラウンドの北側部分である。

にっこりサンパーク多目的グラウンドは、現在、応急仮設住宅用地として利用されている。

建設予定地の東側には北上中学校が立地しており、北側にはクラブハウス、テニスコート、野球場が立地している。西側は法面となっており、高台に児童公園が整備されている。

### ② 土地利用計画

建設予定地周辺においては、石巻市震災復興基本計画に基づき、高台への防災集団移転、地域拠点としての公共施設等の集積が計画されている。

今後、北上にっこり地区拠点施設基本計画に基づき、にっこりサンパーク多目的グラウンドの南側部分には、公共施設を集約させ、公民館機能を備えた総合支所、消防署出張所、こども園等を建設する予定である。

また、西側の法面と児童公園部分は、にっこり団地地区防災集団移転促進事業に基づき、住宅地が形成される予定である。

### ③ 法規制

用途地域（建ぺい率／容積率）	都市計画区域外（—／—）
防火地域	指定なし
その他の地域	建築基準法第 22 条の規定による区域の指定なし
高さ制限	なし
日影規制	なし
災害予想	・津波ハザードマップ 浸水深 0m ・洪水ハザードマップ 浸水深 0m ・急傾斜地崩壊危険区域（急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律） 指定なし ・地すべり防止区域（地すべり等防止法） 指定なし ・土砂災害警戒区域等指定箇所 指定なし

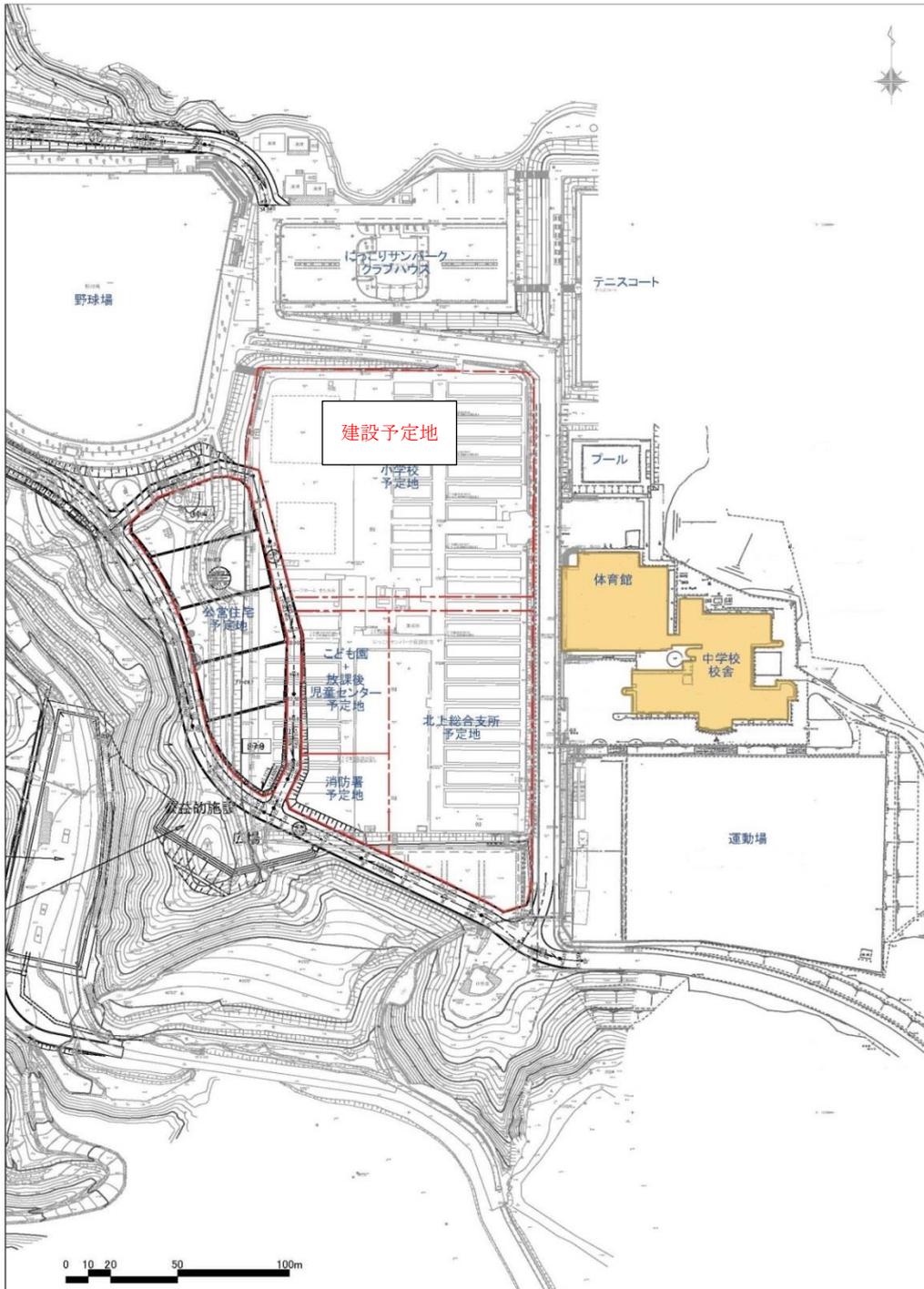


図 4-2 建設予定地及び周辺現況平面図

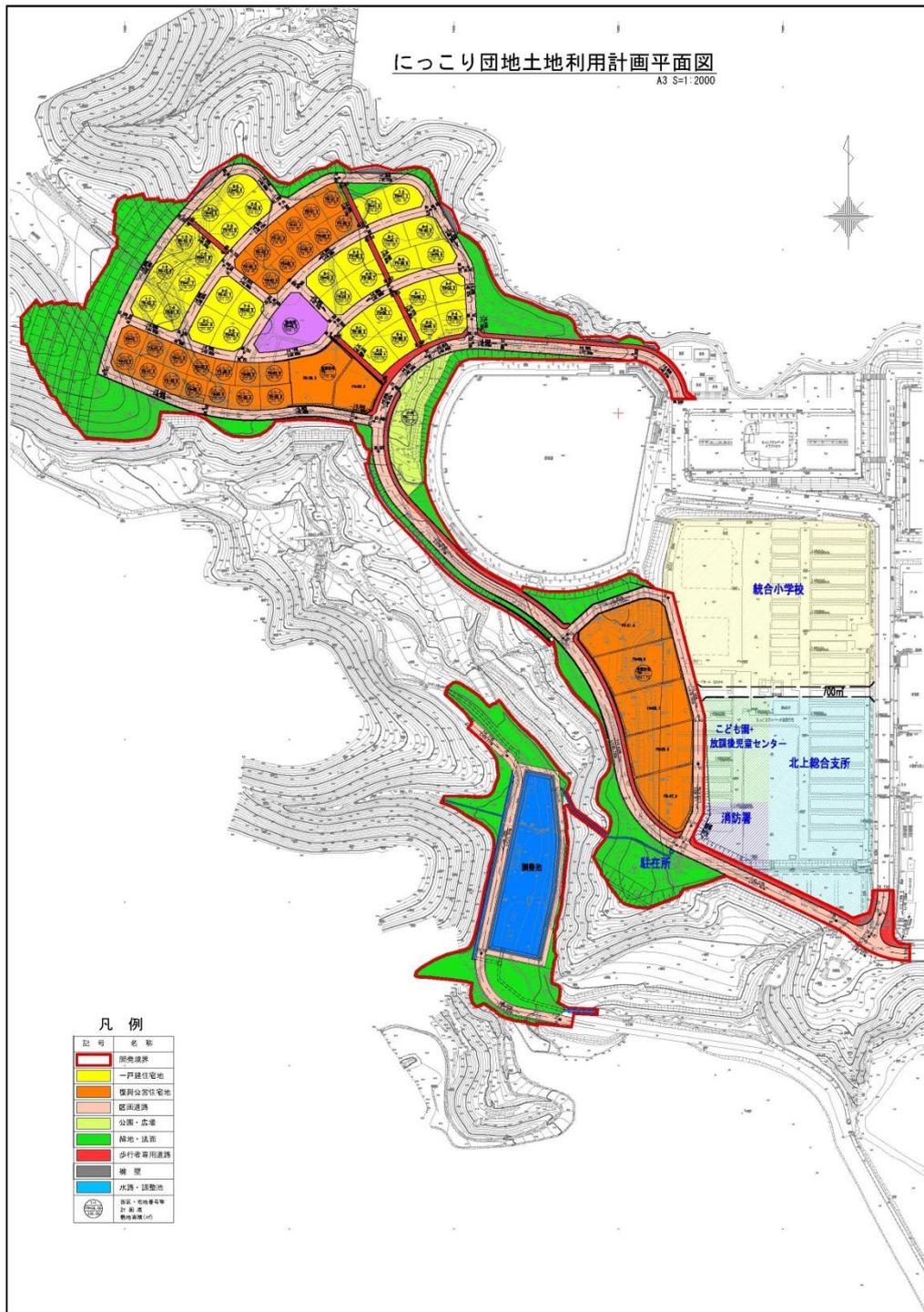


図 4-3 土地利用計画平面図

## 5. 学校づくりのコンセプト

### (1) とともに学び 楽しい学校づくり

- ・北上小学校は、平成 25 年 4 月に相川小学校、橋浦小学校、吉浜小学校の 3 校統合により新設された。
- ・新築される北上小学校は、家庭・地域と連携し、ともに歩みながら、当該校の教育目標である「ふるさとを愛し、豊かな知恵と心もち、たくましく生きる児童の育成」への取り組みについて、多様な活動が展開できる場として整備する必要がある。
- ・また、学校は児童にとって学習の場だけではなく、生活の場としても機能するものであることから、児童の笑顔と元気があふれ、心身ともに健康な学校生活を送ることができる楽しい場として整備する必要がある。

### (2) 効果的な教育を実現する学校づくり

- ・北上小学校の新校舎は、総合支所等の公共施設が集積される北上地区の拠点に整備される。
- ・また、新校舎の建設予定地には、隣接してこども園が整備されることに加え、既存の北上中学校が隣接していることから、地域の子どもたちは、義務教育が終了するまでの長期間をこの地区で過ごすこととなる。
- ・市教育委員会ではかねてから小中連携教育に取り組んでいるが、北上地区では、その特性を活かし、幼・保・小・中の連携を推進することにより、更なる教育効果の向上が見込めるものと考察する。

### (3) 地域に親しまれ、地域とともに創る学校づくり

- ・現在、市内の各地区において復興事業が進捗しているところであり、北上地区においても、各集落の高台への集団移転が行われるほか、にっこりサンパーク多目的グラウンド内に公共施設等の集積地が整備される予定となっている。
- ・これら整備される周辺の施設と連携し、地域としての一体感を感じることができるよう配慮するとともに、地域における学校の役割や、地域とのかかわり方、地域の歴史・文化との向き合い方を再考する必要がある。
- ・このことから、地域全体で地域の子どもを育てていけるように、また、地域住民が子どもの活気を感じながら生活することができるように、施設環境を整備することが大切である。

### (4) 安全で安心できる学校づくり

- ・新たに学校を整備するに当たり、災害発生時に児童等の生命を守ることのできる安全・安心な学校とすることは、地域住民の総意である。

- ・東日本大震災の最大の被災地として、この教訓を踏まえ、防災機能の強化を図り、安全・安心を確保した施設整備を行うことが大切である。

#### (5) 北上地区の雄大な自然と共存する学校づくり

- ・北上地区は、北上川、追波湾、翁倉山からなる山並みなど、雄大な自然が豊富にあることが特徴である。子供たちにとって、北上地区で育つことは、自然への畏敬の念を持ちつつ、自然の恵みに感謝し、自然とともに生活することを体得する時間となる。
- ・また、自然に触れることで、感謝の心や、考える力など心の健全さとともに、強い身体をはぐくむことができる。
- ・そのため、学校では周辺の自然の雄大さを身近に感じられることが大切である。また、このような特徴を持つ北上地区だからこそ、児童や地域住民の自然環境及び地球環境への関心を一層高めるような、環境にやさしい施設整備を行うことが大切である。

### 6. 整備方針

#### (1) 基本的な施設機能

##### ① コンパクトで機能的な施設

- ・児童数に応じた施設規模とし、コンパクトで学校としての一体感がある施設として整備する。
- ・児童の学習の場、生活の場としての機能を備えた施設として整備する。

##### ② 風通しがよく、明るい施設

- ・児童の笑顔と元気があふれ、風通しが良く、毎日学校に登校することが楽しいと思えるような明るい雰囲気施設の施設として整備する。

##### ③ バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設

- ・全ての児童が生活しやすいように、スロープや手すり、段差の解消等、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設として整備する。

##### ④ 児童や職員の安らぎに配慮した、居心地の良い施設

- ・児童及び職員が長い時間を過ごす生活の場として、居心地がよく、安らぎを感じることができる施設として整備する。
- ・また、児童の心身の健康を確保するため、相談室を立ち寄りやすい位置に配置するなど、児童や保護者が安心して利用することができるよう配慮した施設として整備する。

## ⑤ 維持管理しやすく、長期に渡り機能性を確保できる施設

- ・ 必要な機能を満たし、維持管理が容易な施設として整備する。

## (2) 高機能かつ柔軟な施設機能

### ① 学年に応じた教育ができる施設

- ・ どの学年の児童も使いやすく落ち着いて学習することができ、学年に応じた教育ができる施設として整備する。
- ・ 例えば、普通教室は児童の集中力や、学習科目に応じて多様な使い方が可能となるよう工夫する。また、図書室は学年に応じた書架配置、及び読書スペースの確保ができるように配慮する。

### ② 少人数、共同学習に柔軟に対応できる施設

- ・ 少人数学習及び共同学習に対応できる学習空間を有し、柔軟な運用が可能な施設として整備する。

## (3) 地域や中学校との交流に配慮した施設機能

### ① 保護者や地域住民が気軽に訪れ、児童との交流を想定した施設

- ・ 学校と地域が一体となり、児童を育てていけるよう、地域住民が気軽に訪れ、親しみを持てる施設として整備する。
- ・ また、PTA 活動、授業や学校生活を通じた交流活動、イベントの開催等を想定し、来校者（中学校生徒、保護者、地域住民等）の安らぎと豊かなコミュニケーションにも配慮する。

### ② 児童と生徒の交流や、小・中教職員同士が交流できる施設

- ・ 義務教育 9 年間を見通した教育を積極的に進め、学習指導、児童生徒指導の効果を高めることができるよう、隣接する北上中学校と連携し、交流することを想定した施設として整備する。
- ・ 幼児期の教育と小学校教育が円滑に接続できるよう、隣接するこども園と連携し、交流することを想定した施設として整備する。

### ③ 学校の歴史と地域文化の継承に配慮した施設

- ・ 旧相川小学校、旧橋浦小学校及び旧吉浜小学校の歴史を尊重する施設として整備する。
- ・ ふるさとの良さを大切に、地域の伝統文化を後世に伝えていく役目も考慮した施設として整備する。

#### (4) 児童の健康と安全に配慮した施設機能

##### ① 気軽に体力づくりに取り組める施設

- ・ 児童の体力及び運動技能向上のため、グラウンド、屋内運動場等の空間を十分に確保した施設として整備する。

##### ② 死角のない安全な施設

- ・ 屋内外ともに死角をなくし、教職員のみならず周辺住民等が児童を見守り、児童の安全を確保できる施設として整備する。

##### ③ 外部からの侵入者に対し適切に対応できる施設

- ・ 校内を見渡せる位置に職員室を配置する等、セキュリティに配慮し、不審者等に対して適切に対応できる施設として整備する。

#### (5) 防災に配慮した施設機能

##### ① 災害から子どもたちの命を守れる安全・安心な施設

- ・ 災害に強く、子どもたちの命を守る安全・安心な施設として整備する。

##### ② 防災機能を確保した施設

- ・ 当該地域の主たる防災機能は、総合支所が担うことを想定し、小学校については適切に機能分担を行い、必要な防災機能を整備する。
- ・ 施設の耐震性や情報通信機能の確保等、学校としての防災機能に配慮した施設として整備する。

#### (6) 環境へ配慮した施設機能

##### ① 自然エネルギーを活用した施設

- ・ 自然採光、風通し(自然換気)、太陽光発電等の自然エネルギーを積極的に活用し、環境に配慮した学校として整備する。
- ・ 自然エネルギーの活用について、環境教育に役立てることができるよう配慮する。

##### ② 県産材の木材を使用した施設

- ・ 木と触れ合い、ぬくもりや安らぎを感じることができる施設として整備する。木材の使用に際しては、県産材の活用に努める。

##### ③ 敷地の緑化の充実を積極的に図った施設

- ・ 北上地区の自然と調和し、樹木、花壇、畑等の充実を積極的に行い、敷地の緑化を行う等、豊かな環境を有する施設として整備する。

## (7) まちづくりの中での役割

建設予定地の周辺では、総合支所等の公共施設、防災集団移転住宅等の住宅地の整備が行われている。また、中学校やにっこりサンパークとして野球場やテニスコート等の運動施設があることから、これらのまちづくりの中で小学校が果たす役割を十分に認識した小学校整備を行う必要がある。

### ① 周辺公共施設との連携

- ・ にっこり地区に整備される公共施設との連携を考慮し、適切に機能分担を行い相互利用を図る等、効率的な施設として整備を行う。
- ・ 周辺公共施設の敷地内を含め、児童が安全かつ円滑に移動できるよう、車や人の動線に配慮する必要がある。

#### 1) 中学校

- ・ 学習・生活・遊び等多方面にわたり小学校と中学校が連携できるように、諸室や施設配置を工夫する。
- ・ 放課後、中学生の部活動の場として体育館を使用することを想定する。
- ・ 中学生による読み聞かせの活動を継続することを想定する。

#### 2) 総合支所

- ・ 総合支所敷地内の住民バス停留所を小学校及び中学校のスクールバスの乗降場所として利用し、児童が安全に通学できるよう配慮する。
- ・ 総合支所に併設する公民館には、図書館、調理実習室、小ホール等が整備される予定であることから、北上小学校については、公民館の各諸室との相互利用も想定し、総合支所等の整備計画と調整を図りながら検討していく。

#### 3) 放課後児童クラブ

- ・ 小学校のグラウンドや遊具は、放課後児童クラブの児童も使用することを想定する。

### ② 地域との連携

#### 1) まちづくり全体の方針

- ・ 「オープンスペースを軸として、風景や活気が繋がっていく、公園のようなまち」をコンセプトに、にっこり地区の北側高台に整備される住宅地から、野球場、小学校及び中学校のグラウンド、総合支所の駐車場（広場）等のオープンスペースが緩やかに繋がる配置案が、にっこり地区全体の土地利用計画として、北上地域まちづくり委員会から提案されている。

- ・ 北上小学校の施設配置については、当該コンセプトに沿った計画が求められている。

## 2) 地域との交流

- ・ 北上小学校では、地域の方を講師に招いた学習を実施してきたことから、このような学習を通じて地域住民との交流を深めることを想定する。
- ・ ランチルームにおいて、地域住民との会食を行なうことも想定する。

## 3) 地域の産業・文化

- ・ 地域の産業である農業・漁業を身近に感じることができるよう配慮する。
- ・ 北上地区の児童は、地域の伝統文化として北上太鼓に積極的に取り組んでおり、校内において太鼓の練習や発表を行うことを想定する。

## ③ 自然環境との連携

北上地区の雄大な自然を身近に感じることができ、見晴らしの良い施設配置となるよう工夫する。また、児童の遊び場としてもこれらの自然を活用する。

## 7. 主な必要諸室

(別紙参照)

## 8. 整備計画の概要

被災した相川小学校及び吉浜小学校の災害復旧事業として整備することができる規模を上限に、北上地区ならではの学校規模について検討し、必要な施設を合理的かつコンパクトに整備する。

### ① 計画学級数

学級数 8 (普通学級：6、特別支援学級：2)

### ② 施設規模 (上限)

敷地：12,200 m<sup>2</sup>程度

校舎：3,500 m<sup>2</sup>程度

体育館：900 m<sup>2</sup>程度

プール：700 m<sup>2</sup>程度

## 9. 事業スケジュール

平成 26 年度 基本構想・基本計画

設計及び建築工事については、地区の住環境の整備状況や、周辺に建設される公共施設の整備計画を考慮しながら、適切な時期に必要な事業を行うこととする。

## 10. 施設の有効活用のために必要な事項

新しい北上小学校が目指す教育環境は、魅力ある教育活動によって、その効果がより秀でたものとなることから、今後は、幼・保・小・中が近接した敷地で学ぶという特性を活かした教育活動の具体的な検討や、地域全体で子どもを支えていくためのシステム作り等についても検討を深めていくことが必要である。

また、公共施設が近隣に整備されることを考慮し、相互利用を図る等、効率的な施設として整備を行う必要がある。

## 必要諸室（案）について

校舎の規模については、普通学級6学級、特別支援学級2学級を予定し、必要な施設を合理的かつコンパクトに整備することを基本とする。

必要諸室は質の高い教育、地域に根ざした学習活動が展開できるよう、各教室が必要な機能を満たしながら柔軟に組み立てていかなければならない。また、限られた敷地の中で、学校施設を効果的に配置するとともに、中学生や地域住民との交流についても配慮した施設とすることが重要である。

### （1）主な諸室の在り方

小学校において必要十分な諸室として整備し、多くの機能を併せ持つコンパクトな施設として整備する。

#### ① 教室

教室及び特別教室は、自然採光や風通し（自然換気）に配慮し、明るく開放感があり、親しみのある教室とし、直射日光が直接入らないよう配慮（バルコニー、庇等）する。なお、シックスクール対策を十分考慮するものとする。

##### ア 普通教室

- ・ 多様な教育方法を展開するため、より効果的な学習空間として、普通教室はオープン型とする。
- ・ 普通教室間は固定壁で間仕切りを行うものとし、普通教室とオープンスペース間は可動間仕切り壁等により授業の目的に応じた利用が可能となるよう工夫する。
- ・ 教材や児童の荷物を収納するスペースを十分に確保する。オープンスペースを活用することも想定する。
- ・ 教室内に流しを配置することも検討する。

##### イ 多目的教室

- ・ 多目的教室は、少人数学習、異学年交流、通級指導等、多目的に使用できる空間とする。

##### ウ 特別支援教室

- ・ 特別支援教室は、障害種別や対象児童の増加に対応できるように、可動間仕切り壁によって、一体としても、それぞれ分割しても利用できるよう工夫する。
- ・ 児童用の吊り遊具を設置できるよう計画し、シャワールーム（洗体用、汚物処理用）、手洗いや作業等に対応できる水廻り設備、畳コーナー、クールダウン用スペース（小部屋等）を設ける。

## エ オープンスペース

- ・ オープンスペースは、普通教室と隣接して設置し、多様な学習展開の場、グループや個別での学習活動の場、作品や教材の掲示・展示の場として、学習や特別活動の幅を広げ、遊び、集会、交流等、学校生活を豊かにする場として整備する。具体的には、図書コーナー（カーペット敷き）、テーブル、ソファ、収納等を置き、児童の憩いの場となるよう考慮する。

## ② 特別教室

- ・ 特別教室は、それぞれの教科の特性に応じた機能を持ち、まとまった空間としてゾーニングを行い、日常的な実習スペースの場を設ける。

### ア 理科教室

- ・ 理科教室は、自然採光を考慮した配置とする。
- ・ 薬剤の利用及び臭気の出る作業を想定し、床面の素材及び換気に十分配慮とする。
- ・ 作業台を設置し、教材の収納スペースを確保する。
- ・ 理科教室に隣接して、理科準備室を設け、標本や薬品を保管することに配慮し、直射日光を遮ることができるようにする。また、薬品等を保管するための鍵付の収納スペースを確保する。

### イ 生活科教室

- ・ 生活科教室は、低学年の児童が体験学習等、多目的に利用できるよう、椅子は配置せず、低い作業テーブルを設置することを想定する。
- ・ 展示スペース及び収納スペースを十分確保する。
- ・ 他室との共用を可とする。

### ウ 音楽教室

- ・ 音楽教室は、合唱や器楽演奏を行うことを想定し、音響及び防音に十分配慮した部屋とする。
- ・ グランドピアノが設置できるスペースを設ける。
- ・ 音楽教室に隣接して、音楽教室準備室を設け、楽器を保管するための収納スペースを十分確保する。

### エ 図画工作教室

- ・ 図画工作教室は、臭気・粉塵・木くず等が出る作業を想定することから、換気に十分配慮するとともに、汚れにくく、清掃しやすい床仕上げとする。
- ・ 作品（絵画や立体作品）の展示スペースを十分確保する。
- ・ 作業台や水廻り設備を設置するとともに、工具等の収納スペースを十分確保する。

- ・ 図画工作教室に隣接して、図画工作準備室を設け、刃物を保管するための鍵付の収納スペースを確保する。

#### オ 家庭教室

- ・ 家庭教室は、被服と調理の実習が可能となるよう計画する。
- ・ 各調理台に給湯設備、扉付収納スペース、コンロ 2 口を設置する。
- ・ 冷蔵庫置き場について考慮する。
- ・ 被服と調理それぞれについて、教材の収納スペースを十分に設ける。

#### カ 外国語活動室

- ・ 外国語活動室は、普通教室に近接することが望ましい。
- ・ 他室との共用を可とする。

#### キ メディアセンター

- ・ 図書室、コンピューター室の機能を併せ持つメディアセンターを設置し、児童の主体的な学習を支える場として計画する。
- ・ メディアセンターは、普通教室から移動しやすい場所に配置する。
- ・ 図書室とコンピューター室は、独立した室とするが、間仕切り壁をガラス張り（防音性を確保）にする等、メディアセンター全体が広がりを持った空間となるよう構成する。
- ・ 図書室は、児童が気軽に立ち寄れる室とする。
- ・ 読書スペースを十分に確保し、どの学年の児童も使いやすいように工夫する。
- ・ 畳やカーペット敷きのスペース等、リラックスした雰囲気での学習又は読み聞かせ等の交流が行える場を設ける。
- ・ 図書とコンピューターの調べものを同時にできる作業スペースを設ける。
- ・ 書架については、書籍の将来的な増減を考慮して計画する。

### ③ 管理諸室

- ・ 校長室、職員室、職員会議室、印刷室、職員更衣室等は、児童の安全性、安心感を確保するとともに、使用性に配慮した配置とする。

#### ア 校長室・応接室

- ・ 校長室は、応接室と一体として整備し、職員室に隣接し、直接出入りができるように計画する。
- ・ 来賓のアプローチや職員室、給湯室との動線に配慮する。
- ・ 十分な掲示スペースを確保するとともに、洗面台と更衣スペースを設ける。

#### イ 職員室

- ・ 職員室は、グラウンドを見渡せる等、緊急対応ができるよう配置や動線に配慮する。
- ・ 明るく開放的で安心感のある雰囲気になるよう配慮する。
- ・ 打合せスペース（８人程度）、教材収納スペース、印刷機の設置スペースを設ける。

#### ウ 職員更衣室

- ・ 職員更衣室は、男女が各々更衣できるスペースを設け、洗面台を設置する。
- ・ 換気に十分配慮する。

#### エ 印刷室

- ・ 印刷室は、製本等を行う作業台を設置し、紙・インク等の収納スペースを確保する。

#### オ 給湯室

- ・ 給湯室は、校長室・応接室との動線に配慮する。

#### カ 職員会議室

- ・ 職員会議室は、職員室に近接した場所に設置する。全職員が会議を行うことができる広さとする。また、PTAの会議等、多目的に利用できるものとする。

#### キ 保健室

- ・ 保健室は、グラウンドから直接出入りができ、緊急時の対応がスムーズにできるよう配置及び動線に留意する。
- ・ 多目的便所の隣接、または、室内への洋式トイレの設置を検討する。
- ・ 室内に、洗体用のシャワーブースを設ける。
- ・ 洗濯機を配置するためのスペースを検討する。

#### ク 教育相談室

- ・ 教育相談室は、スクールカウンセラーや教師が、保護者や児童と個人面談を行うための室とする。
- ・ 相談者のプライバシーを配慮する等、カウンセリングしやすい落ち着いた雰囲気とし、自然採光等により明るい雰囲気とする。

#### ケ 用務員作業室

- ・ 必要に応じ、用務員作業室の設置を検討する。
- ・ 用務員作業室は、グラウンド等から直接出入りができるように配置する。
- ・ 臭気や騒音を生ずる作業を想定し、換気や防音に配慮する。
- ・ 作業台を設置するとともに、十分な作業スペースを確保する。

- ・ 工具類を収納するスペースを確保する。

#### コ 放送室

- ・ 放送室は、防音に配慮する。
- ・ 運動会で放送機材を使用することを想定し、グラウンドが見える場所に配置する。
- ・ 必要に応じ、隣接してスタジオ（収録室）の設置を検討する。

#### サ 教材資料室

- ・ 教材資料室は、普通教室もしくは職員室に近い場所に配置する。

#### シ 児童会室

- ・ 児童会室は、児童15人程度が会議できる室とする。

#### ス 児童用更衣室

- ・ 児童用更衣室は、安全面や掃除の容易性に配慮し、室外から使用の有無を確認できるよう工夫する。

### ④ 給食

#### ア ランチルーム

- ・ ランチルームは、異学年交流を目的とし、全校児童、教職員と一緒に給食を食べるだけでなく、中学生や地域住民との会食も行える室とする。
- ・ 北上地区の雄大な自然を眺めながら食事を楽しむことができるよう、配置を検討する。

#### イ 配膳室・ワゴンプール

- ・ 配膳室、ワゴンプールは、各階のエレベーターに隣接して設ける。

#### ウ 給食搬入口

- ・ 給食搬入口は、搬出入を行うトラック出入口に十分な大きさの屋根を設け、食材等搬出入の際、雨がかかることのないよう工夫する。
- ・ 給食コンテナ及び給食運搬用ワゴンを用いて十分作業が可能なスペースを確保する。給食を提供時まで衛生的かつ状態良く保管するため、室内温度を調整できる機能について検討する。

### ⑤ 共用部

- ・ 共用部は、児童が一日の大半を過ごす生活の場として、生活機能の充実に加えて、美しく豊かでゆとりのある環境づくりを行う。また、学校集会、イベント、あるいは災害発生時等、非日常時にも十分に対応可能な配置・規模を持たせる。

#### ア 昇降口、廊下、階段

- ・ 昇降口、廊下及び階段等は、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮し、明るく開放的な空間とする。

- ・ 災害時の避難についても安全かつ十分にゆとりのある計画とし、各諸室もしくは各階を合理的かつ機能的に結合するよう配慮する。

#### イ 来賓・教員玄関

- ・ 来賓・教員玄関は、児童の昇降口と共用とするが、職員室に近接する等、来客時に円滑に対応できる配置とする。

#### ウ 歴史展示スペース

- ・ 旧相川小学校、旧橋浦小学校、旧吉浜小学校の歴史に関する資料を展示できるようなスペースを設ける。

#### エ 男女便所

- ・ 便所は、快適性に配慮し、自然採光や風通し（自然換気）を取り入れ、安らぎの空間となるよう計画する。
- ・ 便器はすべて洋式とし、低学年児童も使いやすいよう配慮する。
- ・ 衛生面から、ドライ清掃方式を採用することを基本とする。

#### オ 多目的便所

- ・ 多目的便所は、保健室に近接して配置する。なお、エレベーターからの動線についても考慮する。

#### カ 水廻り設備（流し等）

- ・ 水廻り設備（流し等）は、教室内もしくは教室に近い場所に配置する。
- ・ 低学年児童も使いやすいよう配慮する。

#### キ 来賓・教員便所

- ・ 来賓・教員用便所は、児童用とは別に設ける。

#### ク 半屋外スペース

- ・ 雨天時でも児童が集合できるような空間として、半屋外スペースの配置を検討する。

#### ケ その他（エレベーター、倉庫、油庫、機械室等）

- ・ エレベーターを1基設置する。
- ・ エレベーターは、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮したものとする。給食運搬を想定し、配膳室、ワゴンプールに隣接して配置する。
- ・ 倉庫・書庫は、各諸室との関連性を考慮し、建物内部から出入りができるように配置する。換気に十分配慮するとともに、棚等を適宜設置し、物品の出し入れが容易にできるよう計画する。
- ・ 防災関連室を設け、必要な物資等の保管を想定する。
- ・ 油庫は、建物外部から出入りできるように配置する。

## ⑥ 屋内運動場等

### ア 屋内運動場

- ・ 屋内運動場は、教育活動上支障のない広さを確保する。
- ・ 振動・騒音対策に十分配慮するとともに、安定した自然採光、風通し（自然換気）、強制換気が可能になるよう計画する。
- ・ 学校の教育活動をはじめとし、多様な使用に対応できるものとする。

### イ ステージ、控室

- ・ 屋内運動場に固定式のステージを設ける。
- ・ ステージ両脇に袖舞台としての機能を持たせた控室を設け、スポットライト、ステージ照明、放送等を一括で管理できるようにする。
- ・ 暗転できるよう設える。

### ウ 屋内運動場用管理諸室

- ・ 屋内運動場用管理諸室として、更衣室、便所、洗面所、器具庫を設ける。
- ・ 更衣室は、10人程度が着替えられる更衣室を男女それぞれ設ける。
- ・ 便所は、男女それぞれに、洋式トイレを設ける。
- ・ 洗面所は、モップが洗えるように広く低い流しも設置する。また、洗濯機置き場を設けることを検討する。
- ・ 器具庫は、換気に十分配慮するとともに、棚等を適宜設置して物品の出し入れが容易にできるよう考慮する。

## ⑦ プール

### ア プール

- ・ プールは、25m×5コース程度とし、地上に配置するものとする。

### イ プール用管理諸室

- ・ プール用管理諸室として、プール用更衣室（男女別）、便所、プール用シャワー、器具庫、機械室を設ける。いずれの施設も、湿気対策を十分考慮する。
- ・ プールサイドに、見学児童用の日除け及びタオル掛け（約20人分）を設置するとともに、外部からの視線を遮ることのできる高さ2m程度のフェンスを整備する。
- ・ プール用更衣室（男女別）は、周囲の視線に配慮して、プールから直接出入り可能な位置に配置する。
- ・ プール用器具庫は、フローターやライフジャケットが収納できるよう、十分な広さとする。また、換気に十分配慮するとともに、棚等を適宜設置し、プールから直接物品の出し入れが容易な位置に配置する。

## ⑧ グラウンド

### ア グラウンド

- ・ グラウンドは、150mトラック、及び50mセパレートコースが収まる程度以上の広さとする。
- ・ グラウンドの土は、排水性を考慮した上で風に飛ばされにくい土質のものを使用する。また、一部に人工芝のスペースを設けることを検討する。
- ・ グラウンドの外周部に防球ネットを設置する。不審者等への対策についても考慮する。
- ・ 運動遊具スペースを十分に設ける。足洗い場及び便所を設置する。
- ・ 畑の耕作、地層の観察場、動物の飼育小屋を設ける等、社会科や理科の学習に使えることが望ましい。
- ・ 災害時等において大型車両が容易に進入できるようにする。

### イ 駐車場

- ・ 駐車場は、教職員の必要台数分を整備する。
- ・ 駐車場は、円滑かつ安全な出入りに配慮するとともに、不審者の侵入防止等の観点から死角の少ない場所に配置する。また、車両（緊急車両は除く）が駐車場からグラウンドに乗り入れできないよう計画する。
- ・ 駐車場の出入り口には、門扉等を設置し、施錠可能なよう計画する。

### ウ 倉庫

- ・ グラウンドに倉庫を設置する。
- ・ 石灰やライン引き等頻繁に使用する用具を保管するもの及びイベント用具等を保管するものを想定する。
- ・ 換気に十分配慮するとともに、用具の用途や種類別に整理が可能なように棚等を適宜設置し、物品の出し入れが容易な位置に配置する。

### エ 植栽

- ・ 敷地の外周部等に、四季を感じることでできる樹木等を植栽し、緑豊かな環境を創造する。
- ・ 授業での利用を想定した花壇を設置する。

### オ その他

- ・ スクールバスの乗降及び待機スペースは、総合支所敷地内の住民バス停留所の使用を想定する。
- ・ スクールバスの乗降及び待機スペースから正門まで、児童が安全に通学できるよう配慮する。

## 北上小学校児童・保護者アンケート結果

### 1 目的

本調査は、検討委員会で協議する際の参考とするため、小学校全校児童とその保護者及び保育所の保護者に対し、移転新築する北上小学校に関する意見や要望について、アンケート方式により実施するもの。

### 2 対象者

- (1) 北上小学校の全校児童とその保護者
- (2) 相川保育所、橋浦保育所、吉浜保育所の保護者
  - ・北上小学校に児童がいる保護者については、小学校の対象者とする。

### 3 実施方法

- (1) 配布・回収
  - ・学校及び保育所を通じ、児童等を介してアンケート用紙を配布・回収する。
- (2) 実施期間
  - ・配布日 平成26年12月22日（火）※小学校二学期終業式
  - ・回収日 平成27年 1月 8日（木）※小学校三学期始業式

### 4 調査項目

- 問1 新しい学校で、特に良くして欲しい教室や場所は、ありますか。
- 問2 { 新しい学校は、どのような学校だと、いいですか。【児童】  
新しい学校に、欲しい機能や役割などは、ありますか。【保護者】
- 問3 今の学校から、新しい学校に、引き継いで残したいものは、ありますか。

### 5 回収状況

- (1) 北上小学校
  - ①児童：80通
  - ②保護者：70通
- (2) 保育所保護者
  - ①相川保育所：10通
  - ②橋浦保育所：18通
  - ③吉浜保育所： 2通

6 回答状況（主な回答内容）

※複数回答。カッコ内は件数。

問1 新しい学校で、特に良くして欲しい教室や場所は、ありますか。

	北上小学校		保育所保護者
	児童	保護者	
回答内容	トイレ (13)	トイレ (20)	普通教室 (11)
	普通教室 (9)	普通教室 (14)	校庭 (7)
	プール (6)	駐車場 (6)	図書室 (6)
	図書室 (6)		
	遊具 (6)		

問2 【児童】新しい学校は、どのような学校だと、いいですか。  
【保護者】新しい学校に、欲しい機能や役割などは、ありますか。

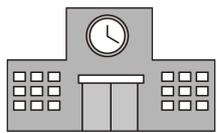
	北上小学校		保育所保護者
	児童	保護者	
回答内容	あいさつする学校 (11)	エアコンの整備 (4)	避難場所 (5)
	楽しい学校 (9)	バス通学 (3)	学童保育を設ける (4)
	きれいな学校 (6)	パソコンで学ぶ (3)	バス通学 (2)
	体育に力を入れる (6)	学童保育を設ける (3)	安全な学校 (2)
		郷土愛を育む (2)	
		自然と触れ合える (2)	

問3 今の学校から、新しい学校に、引き継いで残したいものは、ありますか。

	北上小学校		保育所保護者
	児童	保護者	
回答内容	太鼓・ソーラン節 (24)	太鼓・ソーラン節 (20)	伝統 (5)
	あいさつ運動 (7)	伝統 (15)	イベント (2)
	伝統 (5)	旧三校の記録 (3)	震災の記録 (2)
			避難訓練 (2)
			あいさつ運動 (1)
			バス通学 (1)

# あたらしい学校についての

石巻市教育委員会



# 児童アンケート

あたらしい北上小学校について、みなさんの考えを聞かせてください。

■性別：男・女（○で囲む）

■学年：\_\_\_\_\_年生

【質問1】あたらしい学校で、とくに良くしてほしい教室や場所は、ありますか。

どこですか？ (下の表からえらんでください)	どうしてですか？(くわしく書いてください。)

【質問2】あたらしい学校は、どのような学校だと、いいですか。

〇〇な学校、〇〇できる学校	どうしてですか？(くわしく書いてください。)

【質問3】いまの学校から、あたらしい学校に、ひきついで残したいものは、ありますか。  
(たとえば、部屋、場所、もの、伝統、活動、考え方 などです。)

何を？	どのように残したいですか？

### 【表：学校施設の例】

校舎：普通教室、特別支援教室、多目的室、図書室、理科室、音楽室、家庭科室、図工室、コンピューター室  
 校長室、職員室、保健室、放送室、会議室、昇降口、廊下、階段、水飲み場、トイレ、来客用玄関  
 体育館：床面(コート)、ステージ、更衣室、水飲み場、トイレ、器具庫、暖房、出入口  
 プール：プール、プールサイド、更衣室、シャワー、トイレ  
 校庭：校庭、トラック、遊具、砂場、飼育小屋、水飲み場、トイレ、駐車場、倉庫

書き終わったアンケートは、平成27年1月8日(木)に、担任の先生へ提出してください。

保護者の皆様へ

石巻市教育委員会

### 移転新築する北上小学校に関するアンケートについて（お願い）

石巻市教育委員会では、移転新築する北上小学校について検討するため、地域組織や保護者の代表者、学識経験者等で構成された「北上小学校建設基本構想検討委員会（以下、検討委員会）」を本年9月に設置し、望ましい学校像について協議を行っております。

このアンケートは、今後の検討委員会における協議の参考とするため、小学校児童とその保護者及び保育所保護者の皆様方に、移転新築する北上小学校についてお伺いするものです。何かとお忙しいこととは存じますが、アンケートにご協力下さいますようお願いいたします。

■性別：男・女（○で囲む）

【質問1】新しい学校で、特に良くして欲しい教室や場所は、ありますか。

どこですか？ （下の表からお選び下さい）	どうしてですか？（具体的にご記入願います。）

【質問2】新しい学校に、欲しい機能や役割などは、ありますか。

何を？ （ソフト面でも結構です）	どうしてですか？（具体的にご記入願います。）

【質問3】今の学校から、新しい学校に、引き継いで残したいものは、ありますか。  
（例：施設、備品、伝統、活動、思想など）

何を？	どのように残したいですか？

#### 【表：学校施設の例】

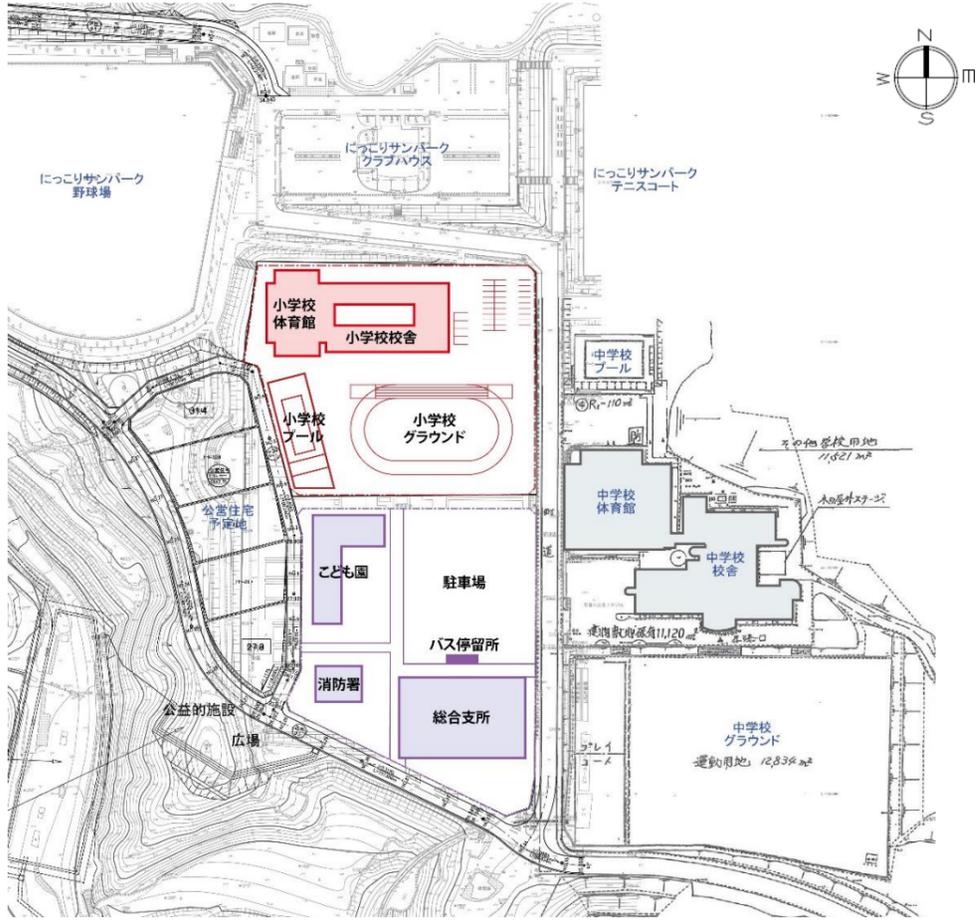
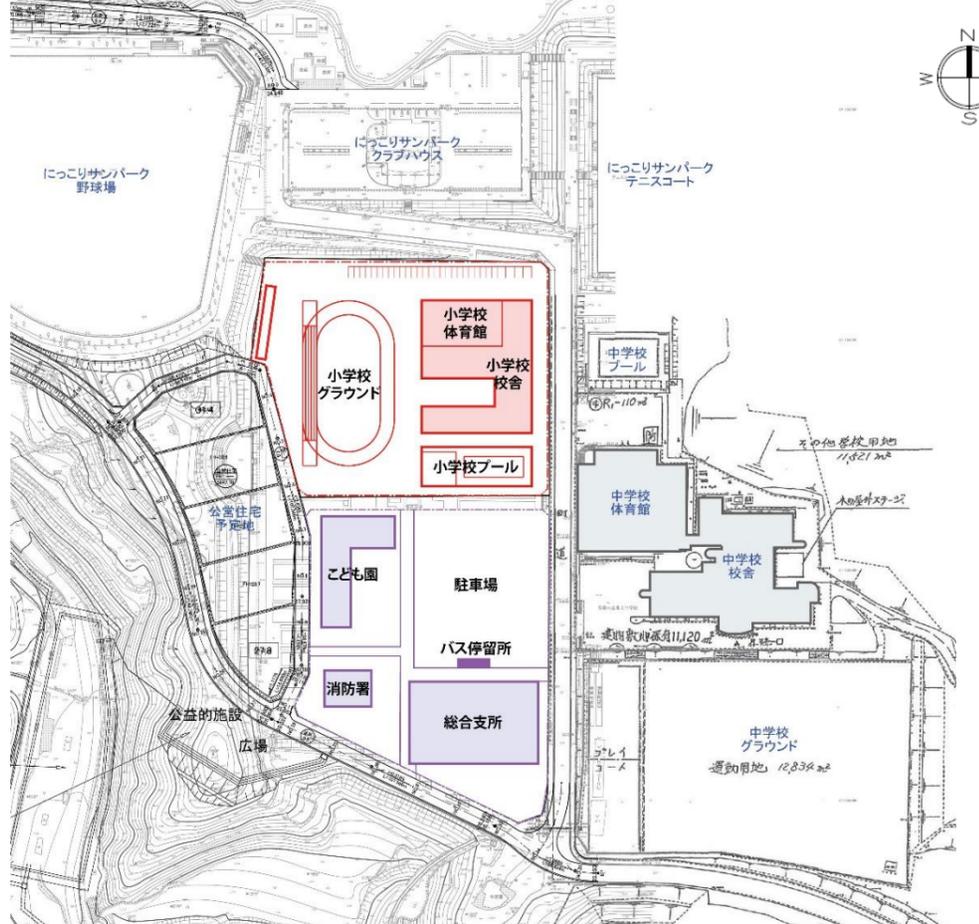
校舎：普通教室、特別支援教室、多目的室、図書室、理科室、音楽室、家庭科室、図工室、コンピューター室  
 校長室、職員室、保健室、放送室、会議室、昇降口、廊下、階段、水飲み場、トイレ、来客用玄関  
 体育館：床面（コート）、ステージ、更衣室、水飲み場、トイレ、器具庫、暖房、出入口  
 プール：プール、プールサイド、更衣室、シャワー、トイレ  
 校庭：校庭、トラック、遊具、砂場、飼育小屋、水飲み場、トイレ、駐車場、倉庫

○保護者用アンケートが2枚届いた場合、ご回答は1枚のみで結構です。

○回答後のアンケートは、平成27年1月8日（始業式）に、お子さんを通じ担任の先生へ提出願います。

～ ご協力ありがとうございました ～

施設配置（素案）

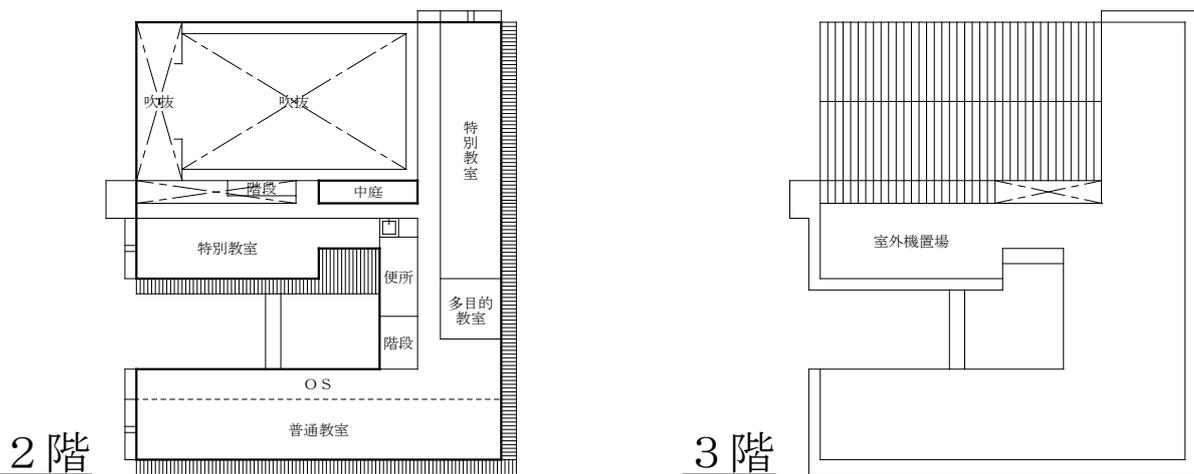
項目	A案 校舎北側配置	B案 校舎東側配置
<p>配置案</p>	 <p style="text-align: right;">※総合支所等の配置は暫定</p>	 <p style="text-align: right;">※総合支所等の配置は暫定</p>
<p>まちづくり委員会におけるコンセプト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンセプト「オープンスペースを軸として、風景や活気が繋がっていく、公園のようなまち」</li> <li>・ 賑わいが街のどこにいても感じられるよう、オープンスペースを取り囲むように公共施設（校舎等）を配置し、「学びのストリート」を構成</li> <li>・ にっこり北住宅団地から北上川への視線と軸を活かすため、賑わいの溢れる場所となるオープンスペース（グラウンド等）を軸線上に緩やかに配置</li> </ul>	
<p>敷地アプローチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺施設（中学校や総合支所等）との連携に配慮し、正門他、敷地出入口は主に南・東に想定</li> <li>・ 広域からのアクセス道路である東側道路に面して駐車場出入口を想定</li> <li>・ スクールバスの乗降場所については、総合支所の駐車場を利用することを想定</li> </ul>	
<p>主な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通教室はグラウンド向き</li> <li>・ 日当たりがよい南向きのグラウンド</li> </ul>	
<p>主な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校舎・体育館と周辺施設に距離がある</li> <li>・ 校舎・体育館と中学校に距離がある</li> <li>・ グラウンドの騒音・防塵に配慮が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校舎・体育館と周辺施設が近接している</li> <li>・ 校舎・体育館と中学校が近接している</li> <li>・ グラウンドの騒音・防塵に配慮が必要</li> </ul>



# B案 校舎東側配置

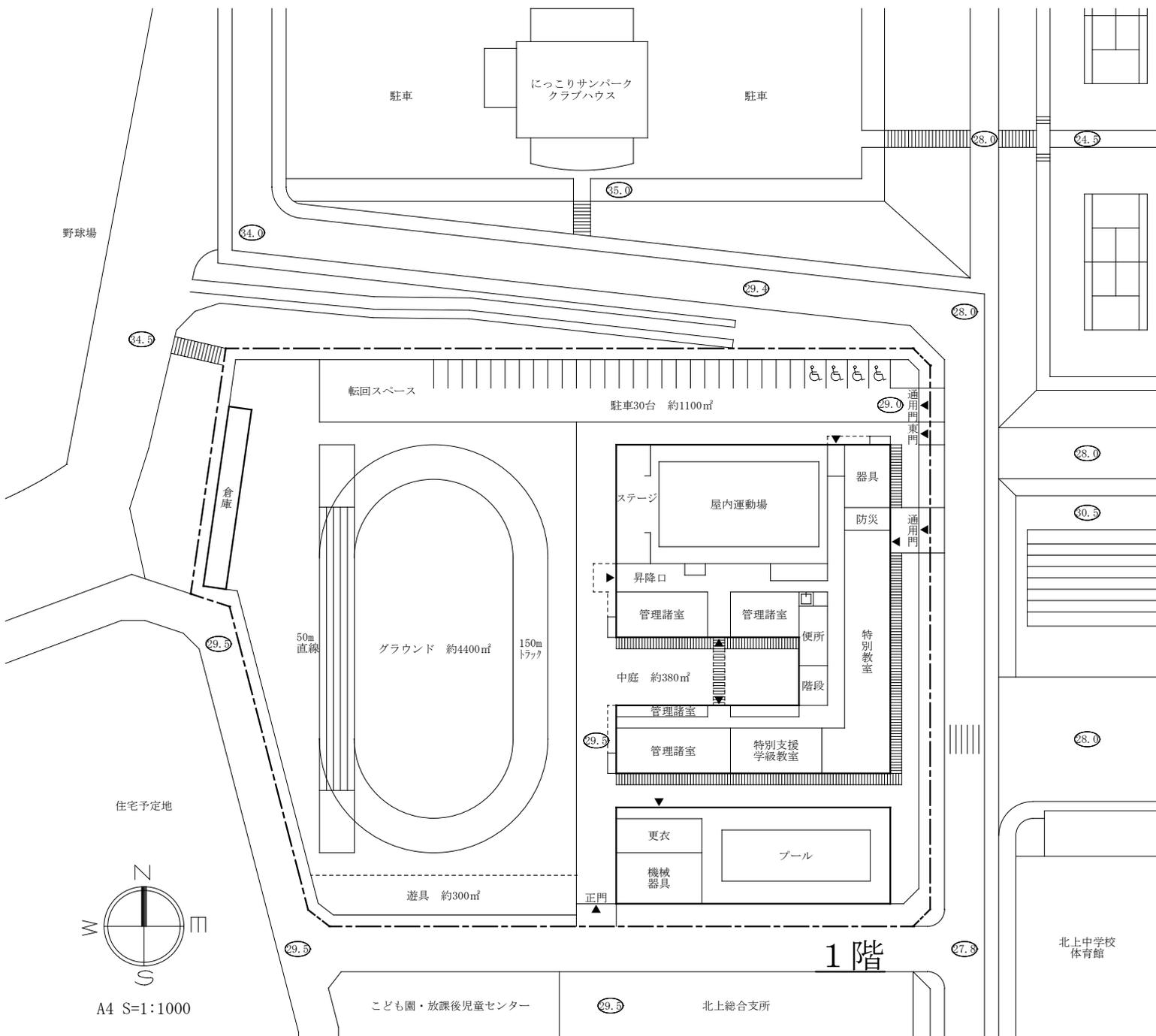
	校舎	体育館	プール	外倉庫
R階				
2階	1500m <sup>2</sup>			
1階	1500m <sup>2</sup>	900m <sup>2</sup>	570m <sup>2</sup>	130m <sup>2</sup>
合計	3000m <sup>2</sup>	900m <sup>2</sup>	570m <sup>2</sup>	130m <sup>2</sup>

※駐輪場・底下等は除く

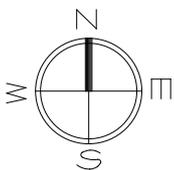


2階

3階



住宅予定地



A4 S=1:1000

こども園・放課後児童センター

北上総合支所

北上中学校  
体育館

## 北上小学校教職員との意見交換会について

- 1 日 時 平成26年12月9日(火) 午後1時30分～3時40分
- 2 場 所 北上小学校 校長室
- 3 参加者 北上小学校の教職員等 3人
- 4 内 容
- ・主に、施設配置案について、検討した。
  - ・また、諸室の在り方、周辺公共施設との連携についても、前回から引き続き検討した。
  - ・北上地区や旧小学校の特徴などについて、意見収集した。

## 5 意 見

## (1) 配置案について

- ・災害時の支所との連携を考えると、学校と支所の上にグラウンドがある方が良い。
- ・プールは、必ずしも地上でなくとも良いのではないか。安全面を考えると、屋上にあった方が良くもしいない。西側の住宅地(地盤高が学校より高い)から土砂が飛来するので、なるべく離す方が良く。また、水温の関係で、なるべく日照時間が長い方が良く。中学校のプールは水深が深いため、兼用することは難しい。
- ・グラウンドは200mトラック、100m直線程度の広さを確保したい。校舎を小さくすることで、遊具の面積を確保するように検討する。
- ・頻度は多くないが、積雪や凍結の恐れがあるため、スクールバスの駐車場は、日陰になるような場所は避けたい。
- ・雨の日は、車に乗せられて登校する児童もいるので、道路に車寄せを設けられるか検討する。なお、スクールバスの対象は4km以上で、現校舎から建設予定地までは4.2km程度となっている。
- ・駐車場は、職員分+数台程度あれば良い。イベント時には、中学校の駐車場等を利用してもらうなど運用面での工夫で対応可能。
- ・中庭は、低学年用に遊具を置くなど工夫ができそうで良い。
- ・職員室と保健室が離れるのは心配であるため、渡り廊下でつなぐなどの工夫が必要である。

## (2) 諸室について

- ・ 児童数は、現在 5 年生が 20 人であるが、4 年生以下は 15 人前後であり、今後も同程度であると思われる。このため、教室の広さは、64 m<sup>2</sup>程度でも問題ないと考えられる。
- ・ ランチルームは、学年を超えた交流が行える点が特に魅力である。多目的室とは併用しないことを基本に、本校の特色ある施設として検討したい。運用面では、毎日の給食で使用することも検討する。
- ・ ランチルームでは、近くの老人ホームの方を招いたり、家庭科の授業で講師を招いた時に家庭教室で調理したものを食事することも想定される。
- ・ 特別支援学級は、担任教師が児童のそばを離れる時間が少ないようにできると良い。職員室の近くへの配置や、教師コーナーの設置などを検討する。
- ・ 家庭教室には、現在、作業台が児童用 6 台＋教員用が設置されている。新校舎には児童用 4 台＋教員用程度あれば良い。

## (3) 中学校との連携、総合支所との連携、地域交流

- ・ 放課後児童クラブの児童は、下校時間まではグラウンドを使って良い。
- ・ 体育館は、放課後、中学生が部活動で利用することが想定される。
- ・ 現在、中学生による読み聞かせ活動が、各教室で行われているが、新校舎では、図書館などで行えると良い。
- ・ 地域交流は、総合の授業の一環として行うことを想定している。地域住民が公民館等のように自由に校舎内に出入りすることは想定していない。

## (4) 北上地区・旧小学校の特徴など

- ・ 相川小学校では、地域の学習の一環として海水魚を飼育していた。漁業が盛んな地区でもあり、漁師を目指す児童も多かった。
- ・ 伝統芸能ではないが、北上太鼓の練習をしており、地域のイベントなどとして披露している。
- ・ 本校では、6 年生が葦を手すきして卒業証書を作成する取り組みを行っており、定着を期待している。
- ・ 北上小学校にはビオトープがある。好きな児童は興味を示すが、維持管理が大変である。

## グループ討議について

## 1 グループ討議（45分程度）

- (1) テーマ 「新しい学校に必要な諸室、施設配置の基本的な考え方」について
- (2) 進め方 ・各班進行役の指示により、グループ討議を行う。  
 ・発表に向けた意見の取りまとめ作業も、時間内に行う。  
 ・学識経験者はアドバイザーとして班に加わり、助言や提言を行う。

## (3) 班編成

## A 班

(敬称略)

委員名	備考	
青山 英幸	石巻市立北上小学校父母教師会	会長
大槻 良一	石巻市立北上中学校父母教師会	顧問
佐藤 富士夫	北上地区まちづくり委員会	会長
橋本 恵司	石巻市立北上小学校	校長
岸浪 徹	石巻市立相川保育所	保護者
長澤 悟	学識経験者	

## B 班

委員名	備考	
佐藤 幸悦	石巻市立北上小学校父母教師会	副会長
高橋 陽子	石巻市立北上中学校父母教師会	会長
佐藤 栄記	北上地区区長会	会長
阿部 俊男	石巻市立北上中学校	校長
今野 久美子	石巻市立橋浦保育所	保護者
小野田 泰明	学識経験者	

※各班進行役：建設技術研究所

## 2 意見発表（10分）

- ・各班の代表者が討議内容を発表する。

## 3 意見交換（10分）

- ・委員長を座長として、意見発表を基に全体で意見交換を行う。

## 4 グループ討議の講評（10分）

- ・各班の討議内容等について、学識経験者から講評を頂く。

## 今後のスケジュールについて

時期	基本構想検討委員会	ワークショップ、説明会
9月	○第1回検討委員会（委嘱状交付式） ・検討体制及びスケジュール ・前提条件、コンセプトについて ・基本構想策定方針（案）について 【9月29日】	
10月		○教職員ワークショップ ・必要諸室等の検討  【10月14日、28日】
11月	○第2回検討委員会 ・基本構想策定方針の検討 ・必要諸室（案）について  【11月5日】	
12月	○第3回検討委員会 ・基本構想策定方針の決定 ・必要な機能等の検討 ➢ グループ討議 【12月12日】	○教職員ワークショップ ・施設配置の検討 【12月9日】  ○児童・保護者アンケート ・新設校について等 【12月22日】
1月	○第4回検討委員会 ・基本構想・基本計画（骨子）について ・必要諸室、施設配置等の検討 ➢ グループ討議 【1月28日】	
2月	○第5回検討委員会 ・必要諸室、施設配置等の決定 ・基本構想・基本計画（案）について  【2月25日】	○保護者説明会 ・基本構想・基本計画の概要説明  【2月27日】
3月	○第6回検討委員会 ・基本構想・基本計画（案）の決定  【 月 日】	○住民説明会 ・基本構想・基本計画の概要説明  【 月 日】

○基本構想検討委員会だよりの発行 ①: 10月29日 ②: 2月13日 ③: 3月26日